

愛西市立佐織中学校

90%以上

80% 主港

設問	項目	教職員					項目	生徒					項目	保護者				
		そう	どちら	どちら	全く	分か		そう	どちら	どちら	全く	分か		そう	どちら	どちら	全く	分か
1	わたしは、学校経営方針「多様な『幸せ』実現」のスローガンを 目指した教育活動の実施に努 めている。	21.7	73.9	0.0	0.0	4.3	わたしは、学校の目標「多様な 『幸せ』実現」のスローガンを 心がけて学校生活を送ってい る。	39.6	42.5	3.6	2.5	11.8	学校は、学校経営方針「多様な 『幸せ』実現」のスローガンを 目指した教育活動の実施に努 めている。	16.7	53.2	3.4	0.4	26.2
2	わたしは、学校祭などの学校行 事に、生徒が自主的・主体的に 取り組めるよう努めている。	17.4	78.3	0.0	0.0	4.3	わたしは、学校祭などの学校行 事に、自主的・主体的に取り組 んでいる。	53.2	33.6	4.3	1.4	7.5	学校は、学校祭などの学校行事 がよりよいものになるよう努め ている。	41.6	50.6	3.0	0.0	4.7
3	わたしは、学校のさまざまな活 動（学級活動・生徒会活動）を通 じて、生徒の自治活動の推進に 努めている。	13.0	78.3	0.0	0.0	8.7	わたしは、学校のさまざまな活 動（学級活動・生徒会活動）を通 じて、生徒による学校づくりをす めるよう努めている。	34.3	43.9	8.6	1.8	11.4	学校は、学校のさまざまな活動 （学級活動・生徒会活動）を通 じて、生徒の自治活動の推進に 努めている。	27.0	53.6	2.1	0.4	16.7
4	わたしは、いじめのない学校・学 年・学級づくりに努めている。	52.2	43.5	4.3	0.0	0.0	わたしは、いじめのない学校・学 年・学級づくりを心掛けて学校 生活を送っている。	60.7	27.5	1.8	1.4	8.6	学校は、いじめのない学校・学 年・学級づくりに努めている。	19.3	53.2	5.6	1.7	20.2
5	わたしは、ダイバーシティ（多様 性）を尊重し、多様な教職員や 生徒が気持ちよく生活できるよ う努めている。	34.8	56.5	4.3	0.0	4.3	わたしは、ダイバーシティ（多様 性）を尊重しつつ、多様な仲間と 互いに気持ちのよい学校生活 が送れている。	50.7	33.6	2.5	0.7	12.5	学校は、ダイバーシティ（多様 性）を尊重しつつ、みんなが気 持ちよく学校生活が送れるよう 努めている。	24.5	54.1	3.9	0.9	16.7
6	わたしは、授業を通じて生徒に 基礎的な学力を身に付けさせる ことができている。	13.0	60.9	21.7	0.0	4.3	わたしは、授業を通じて基礎的 な学力を身に付けることができ ている。	50.0	36.4	3.9	2.1	7.5	学校は、授業を通じて生徒に基 礎的な学力を身につけることが できている。	17.6	56.2	10.7	0.9	14.6
7	わたしは、生徒が授業で主体的 に学習に取り組んだり、積極的 に仲間と話し合う活動に取り組 んだりできるよう努めている。	17.4	52.2	26.1	0.0	4.3	わたしは、授業で主体的に学習 に取り組んだり、積極的に仲間 と話し合う活動に取り組んだり している。	44.6	40.0	4.6	1.4	9.3	学校は、授業で生徒が主体的 に学習に取り組んだり、積極的 に話し合う活動に取り組んだり できるよう努めている。	14.6	57.9	4.3	0.4	22.7
8	わたしは、タブレット端末を有効 に活用して、より個別最適な学 びが実現できるよう努めてい る。	17.4	65.2	13.0	4.3	0.0	わたしは、タブレット端末を有効 に活用して、より自分に合った 学び方が選択、決定できている 。	53.2	34.3	3.2	0.7	8.6	学校は、タブレット端末を有効に 活用して、個に応じた学びが選 択、決定できるように努めてい る。	21.9	45.1	9.0	0.9	23.2
9	わたしは、生徒が家庭で自主的 に学習に取り組むよう工夫に努 めている。	8.7	52.2	34.8	0.0	4.3	わたしは家庭で自主的に学習 に取り組んでいる。	32.1	32.9	21.4	7.5	6.1	学校は生徒が家庭で自主的に 学習に取り組むよう努めてい る。	11.6	37.8	20.6	5.6	24.5
10	わたしは、生徒が挨拶・マナー・ 礼儀を大切にして生活するよう 努めている。	13.0	78.3	4.3	0.0	4.3	わたしは、挨拶・マナー・礼儀を 大切にして生活している。	54.3	36.4	4.3	0.0	5.0	学校は、生徒が挨拶・マナー・ 礼儀を大切にして生活するよう 努めている。	17.6	58.8	9.4	1.3	12.9
11	わたしは、生徒が交通ルールを 守り、安全に気をつけて登下校 をするよう努めている。	34.8	60.9	4.3	0.0	0.0	わたしは、交通ルールを守り、 安全に気をつけて登下校をして いる。	67.1	26.8	1.1	0.4	4.6	学校は、生徒が交通ルールを 守り、安全に気をつけて登下校 をするよう努めている。	25.8	57.1	6.9	0.4	9.9
12	わたしは、携帯電話・スマート フォン・タブレット端末などの使 用について、インターネットの危 険性に注意しながら、生徒が正 しく安全に使用できるように努 めている。	17.4	60.9	8.7	0.0	13.0	わたしは、携帯電話・スマート フォン・タブレット端末などの使 用について、インターネットの危 険性に注意しながら、正しく安全 な使用を心がけている。	65.0	25.4	2.9	1.4	5.4	学校は、携帯電話・スマートフォ ン・タブレット端末などについ て、生徒が正しく安全な使用が できるよう指導に努めている。	18.5	53.2	12.9	0.4	15.0
13	わたしは、限られた時間の中で 生徒が有意義な部活動ができ るよう努めている。	17.4	60.9	17.4	0.0	4.3	わたしは、限られた時間の中で 部活動で有意義な活動ができ ている。（3年生は引退前の活 動を振り返って回答）	53.6	32.9	2.5	1.8	9.3	学校は、限られた時間の中で 生徒が部活動で有意義な活動が できるよう努めている。（3年生 は引退前の活動を振り返って回 答）	26.6	43.8	15.0	4.3	10.3
14	わたしは、生徒が安心・安全な 学校生活が送れるよう、常に保 健・安全面の環境整備に努めて いる。	21.7	65.2	8.7	0.0	4.3	わたしは、みんなが安心・安全 な学校生活が送れるよう、保 健・安全面の校内環境をよくし ようと心がけて学校生活が送れ ている。	48.6	41.1	1.4	0.4	8.6	学校は、生徒が安心・安全な学 校生活が送れるよう、常に保 健・安全面に配慮した環境整備 を進めている。	26.6	58.4	3.9	0.4	10.7
15	わたしは、日々の学校生活や子 どもたちの様子について情報発 信や保護者連絡を積極的に行 い、信頼される学校づくりに努 めている。	30.4	56.5	4.3	0.0	8.7	わたしは、学校からの連絡や情 報発信（学校だより、学校ホー ムページなど）から積極的に情 報を取り入れている。	37.9	27.9	18.6	6.4	9.3	学校は、日々の学校生活や子 どもたちの様子について情報発 信や保護者連絡を積極的に行 い、信頼される学校づくりに努 めている。	35.2	54.1	5.6	0.0	5.2
16	わたしは、グループ担任制の実 施を通じて、生徒の自主性や主 体性を高めつつ、生徒主体の学 校づくりに努めている。	13.0	56.5	13.0	0.0	17.4	わたしは、グループ担任制に なったことを通じて、よりよい 学級づくりを主体的に進め、充 実した学校生活が送れるよう努 めている。	33.2	37.9	8.9	3.2	16.8	学校は、グループ担任制の実 施を通じて、生徒の自主性や主 体性を高めつつ、生徒主体の学 校づくりに努めている。	16.3	38.6	13.3	6.4	25.3
17	わたしは、「オアシスルーム」や オンライン授業の積極的な実施 など、生徒の多様な居場所づく りの意義を理解し、生徒一人一 人が安心して学校生活を送れる よう努めている。	26.1	65.2	0.0	0.0	8.7	わたしは、「オアシスルーム」や オンライン授業といった生徒の 多様な居場所づくりの意義を理 解し、多様な生徒一人一人が 安心して学校生活を送れるよう 心がけている。	41.1	38.9	3.9	1.4	14.6	学校は、「オアシスルーム」やオ ンライン授業の積極的な実施 などを通じて、生徒の多様な居 場所づくりを進め、生徒一人一 人が安心して学校生活を送れる よう努めている。	27.5	49.8	5.6	0.9	16.3
18	わたしは、自身の在校時間を把 握し、時間外勤務を少なくする ために、業務の効率化や削減 に努めている。	26.1	26.1	30.4	4.3	13.0												

令和5年度 学校評価アンケートについて

1 充実した学校生活の実現に関する質問（質問1～5）について

- ・ 教職員については、生徒・保護者に比べて肯定的な回答が多い傾向にありました。また、生徒・保護者において、「分からない」という回答が昨年度に比べて多い傾向にありました。
- ・ 質問2については、教職員・保護者について肯定的な回答が90%を超えました。

<回答結果より>

- ・ 学校経営目標として「多様な『幸せ』実現」を掲げ、さまざまな取組を行ってまいりましたが、さまざまな取組について保護者の皆様への周知が十分ではなかったことが結果から分かりました。学校経営目標の実現に向けた活動について、より保護者の皆様に身近に感じていただくために、学校ホームページやCラーニングを活用した積極的な情報発信に努めてまいります。
- ・ コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、学校祭のような生徒が生き生きと主体的に活動できていた所を多くの保護者の方に直接見ていただけたことは本当に嬉しいことでした。引き続き、生徒が主体的に考え、行動することができる環境づくりに努めてまいります。

2 授業や学習に関する質問（質問6～9）について

- ・ 昨年度と同様、教職員・保護者について、肯定的な回答の多くが80%に満たない結果となりました。特に家庭学習に対しては、生徒も含めて課題と感じている傾向が見られました。
- ・ 質問8については、教職員・生徒ともに一定の成果を感じている傾向が見られました。一方、保護者については、「分からない」という回答が多く見られました。

<回答結果より>

- ・ 昨年度に引き続き、授業や学習に対して、本校の課題が多くあることが分かりました。生徒に基礎的な学力を身に付けさせつつ、それらをより活用できるように、ICTを積極的に用いた「個別最適な学び」の実現に向けて教員研修の充実にも努めます。
- ・ 家庭での自主的な学習については昨年度に引き続き、今年度も十分な取組になっていないことが分かりました。昨年度の回答と比較をすると、全体としての傾向は変わらない中でも、教職員の肯定的な回答が増加しました。生徒がより自主的に家庭学習に取り組めるような工夫を、それぞれの教員が実施に努めている結果と考えられます。生徒自身で学習の自己調整・自己決定ができるように、学校とご家庭が連携した家庭学習の在り方について、さらに検討を進めます。

3 生活や部活動に関する質問（質問10～15）について

- ・ 教職員・生徒については、90%を超える肯定的な回答が多く見られました。一方、保護者については、多くの質問に対して肯定的な回答が80%に満たない結果となりました。
- ・ 昨年度に比べて、質問10、あるいは教職員の質問11に関して、肯定的な回答が増加しました。
- ・ 質問12については、肯定的な回答が生徒は90%以上で得られたのに対し、教職員・保

護者では80%以下となりました。

- ・ 質問13については、教職員の肯定的な回答が、昨年度に比べ3割程度増加していました。
- ・ 質問15については、生徒からの否定的な回答が20%を超えていました。

<回答結果より>

- ・ 生徒がさまざまな面で高い意識をもって生活しており、教職員もその成長を後押しできるように高い意識をもって関わっていることがうかがえました。このような姿を校内だけでなく、どのような場所でも心掛けることができるよう、働きかけを続けてまいります。
- ・ 生徒はインターネットの危険性に注意しながらスマートフォンやタブレット端末を使用していると感じている傾向が分かった一方、教職員・保護者では肯定的な回答が生徒ほど高くなく、「インターネットの安全な使用」について生徒と大人との間に意識の差があることが分かりました。引き続き、適切なインターネットの活用法や、デジタル社会での望ましい生き方、人権に対する意識について、生徒が主体的に考える機会をつくりたいと思います。
- ・ 生徒が学校からの情報を受け取ることにあまり積極的ではないことが分かりました。これまで以上にホームページの更新を積極的に行うなどして、生徒が主体的に情報を得ようとする環境を整えたいと思います。

4 本年度新たな取組に関する質問（質問16、17）について

- ・ 質問16・17の質問について、三者ともに「分からない」という回答が20%前後となりました。
- ・ 質問17について、肯定的な回答が教職員については90%以上となった一方、生徒・保護者は、80%程度となりました。

<回答結果より>

- ・ 生徒の多様で主体的な学びや生活の仕方を進めるために、本年度さまざまな取組を実施してまいりました。しかしながら、今回のアンケート結果から、その成果や取組が、十分にご家庭に伝わっていなかったことが分かりました。今後も「多様な『幸せ』実現」に向けた学校づくりをさらに推進していくことに加えて、学校の取組やお子様の様子を、保護者の皆様に学校ホームページやCラーニングを通じて、積極的にお伝えしていきたいと思います。

5 在校時間、働き方に関する質問（質問18※教員のみ）について

<回答結果より>

- ・ 本校の教職員は、教材研究や生徒指導等を始めとした、さまざまな業務に精力的に取り組む傾向にあります。引き続き教職員の勤務時間外の在校時間削減を目指し、業務のデジタル化や効率化を進め、生徒だけでなく教職員にとっても「多様な『幸せ』実現」が叶う働きやすい職場づくりを進めてまいります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

授業・テスト・評価について

保護者から	・先日の保育実習について、子どもが楽しそうに報告をしてくれました。過去の自分と重ねて、いい振り返りになったようです。多様な関わりがよい刺激になる事を実感しました。 ・復習テストについて①間隔のバラ付き②範囲③回数④テスト日程、そして単元テストの実施・案内について検討をお願いしたいです。第1回復習テストは6月。第2回は9月。第3回は11月。そして3年生の第4回は12月。間隔が均等ではありません。しかも第1・2回実施時期の間隔が広いと、テスト範囲も広く、復習が追いつかず、取りこぼしてばかりです。更に9月は副教科もあるのに2日間で実施します。夏休みから復習を行いましたが大変でした。授業時数を確保することを優先しすぎに見受けられます。また、こまめに単元テストを行うことにより基礎を固めると入学当初にご説明頂きましたが、教科によってはCラーニングの案内が全くないため、単元テストを行っているかさえ分かりません。案内がある教科(英・数)は、数日前から家庭にて声掛けをし家庭学習に繋げていますが、案内のない教科はテスト前日に勉強する程度。子どもに確認したところ、案内のない教科は1ヶ月～1ヶ月半位で単元テストをしているようですが、実施日が不明のため家庭で声掛けもできませんし、こまめに基礎の定着を図っているように感じられません。結果、復習テストで範囲が広く復習しきれず取りこぼしが出る状況です。このまま上の学年に上がるので、親として不安しかありません。定期テストを年4回に減らすより、年5回の時の方が、短いスパンとなり、範囲も狭まり深く復習できるので、結果的に全体の学力が高まるように感じました。また副教科においては、技術家庭は技術範囲と家庭科範囲の2科目を勉強しなければなりません。保健体育も同様です。副教科は2科目ではなく実質4科目です。昨年度第2・4回復習テストは3日間で行われました。その時の方がより復習に時間を使えるので、各教科の点数が良かったです。授業時数確保や行事優先という学校の立場も理解しますが、子どもの立場になり、より深く復習できるよう、取り組みやすいテスト期間・テスト範囲をご検討くださいませ。よろしくお願い致します。 ・3年間の学校生活はとても楽しそうでした。今更ではありますが、佐織中学では美術と音楽の定期テストがないのはなぜでしょうか。テストを実施している学校もあると聞きます。技能を苦手としている場合、態度や取り組みなど以外でも、記述テストという形で意欲を示したい子もいます。愛知県の公立高校の入試では内申書の総合点も重要になってくるため切実です。 ・成績の付け方に、疑問がある。多様性、人間性、主体性を重んじるのはわかるが、それこそ多様性を重視するのなら、教師に見える形ではない、表に現れない、内向的なタイプもまた、多様性として重視されてもよいと思うが、そういったいわゆる積極性が教師の目に映りにくい子には、どうしても不利な成績の付け方になっていないか、と疑問に思う。テストがこれだけ多くあり、日々頑張っているのに、テストである程度できても、主体性を問うところで、マイナスになるのも、わからなくはないが、あまりにバランスがとれていないように思う。教師の個人的な主観が入りすぎていないかと思う。
生徒から	・タブレットを勝手に使っている。 ・授業での配布物は紙面にしてほしい。iPadで配布されているものもあるが、解いたりするプリントだとやりにくかったり、管理がしにくかったりするから。 ・授業中にうるさい人がいてそのせいで全く集中できない。
学校から	昨年度より、年4回の復習テスト、年2回の実力テストに加え、全教科の授業で実施を始めた単元テストにより、生徒の復習の積み重ねを行っております。これまでにいただいたご意見を参考にし、かつ年間全体を通した行事の配置を考慮しながら、可能な限りお子様の負担や偏りが出ないように、より適切なテストの計画を考えてまいります。テストは学力の定着を図り、次の学びについて考える貴重な機会です。今後もより適切な実施の仕方について検討を重ねてまいります。 また、評価についてですが、全ての教科において、テストのみで評価を行っているわけではなく、普段の授業をはじめとする全ての学習活動において評価を行っております。特に音楽・美術では、技能と知識が相互に関連しながら習得されます。そのため本校では、この2教科での定期テストを実施しておりませんが、指導者が必要であるとした場合は、授業内で知識を問うような形で振り返りを行うことも行っています。加えて、教師は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」といった多角的な視点で生徒を評価しています。表に現れる部分だけでなく、生徒の記した気付き、振り返りといった記述なども活用して評価を行っております。その他に、11月から試験導入を行った「採点ナビ」の活用も、できる限りの確に素早く生徒の学力の状況を分析するための取組になれば、と考えてのことです。今回いただいたご意見を基に、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現するための学習の在り方についてさらに検討し、さらなる改善に努めます。 授業でのタブレット端末の活用や授業規律について、毎日実施をしている心のアンケートや教育相談の機会を今後も有効に活用し、よりよい学習環境づくりに教員・生徒が力を合わせて取り組んでまいります。またお気付きのことがありましたら、遠慮なく学校まで相談・連絡をお願いいたします。

タブレット端末の活用について

保護者から	・タブレットの使い方に問題があり、携帯を取り上げて、テスト対策をしていますが、タブレットで勉強しているフリで、YouTubeを見たりゲームしたりと困ってます。せめてテスト期間中だけでも、何か設定とかできないもののでしょうか。 ・タブレット持ち帰り、家で動画配信見たり、音楽を聴いたりしているので困ってました。注意して置く場所決めても、宿題がタブレット提出と言われれば取り上げる事は出来ず、携帯やゲームなどは時間制限していても、手元にあるタブレットが触れるのであればずっとタブレット触っていたので悩みました。 ・勉強すると言ってタブレットを持ち帰っても、娯楽に使っていることが殆どなので、自宅学習や就寝時間を割いたり、自制も難しいので、本当は持ち帰ってきて欲しくありません。 ・教科によってタブレット端末を全く使わない教科があり、先生によるのかもしれませんが、今後の学習習慣のためにも積極的に活用してもらいたいです。 ・授業での配布物はタブレットではなく、紙面で配布して頂きたい。見直しや復習をするのに学校にある為出来ない事が多々ある。
学校から	学校でのICT活用が進められる中、本校では率先してタブレット端末をはじめとするICTを活用した授業づくりを進めてまいりました。学校では、現在のデジタル社会における生き方、社会へ参画するために必要とされる力を養うことが重要であると考え、生徒が「自分で考え、調整し、決定する」経験をさせたいと思います。 昨年度に引き続き、ご家庭でのタブレット端末の使い方についてのご意見を多数いただきました。学校としては先述したように、「自分で考え、調整し、決定する」力を生徒に身に付けさせたいと考えています。そのため、これまで行ってきた「スマホ安全教室」に加え、さまざまな機会に「人権」について考えるような活動を通して、ネットリテラシーの醸成にも努めております。また、このような取組を学校だけでなく、ご家庭と情報共有しながら協力して進めてまいりたいと思います。ご理解いただきつつ、ご家庭でも適切なICT活用に対してご協力・ご指導を賜りたいと思います。

生活面について

保護者から	・先生方のおかげで、毎日子どもが楽しく登校できております。いろんな先生方に見守っていただき、ありがとうございます。 ・問題が起きた時の対応が早く、心配事が最小限で済んだように思います。ありがとうございます。 ・子どもが自宅用の提出物を出さないでCラーニングにアップしてもらえると大変助かります。ありがとうございます。 ・子供が体調を崩して休んだときでもその日の担任の先生が電話をいれてくださり体調確認や時間割などの確認等細かなところまで気にかけてくださり感謝しています。 ・先生達皆さんが、頑張ってくださって、いつも有難うございます。 ・子ども同士の些細な揉め事にも先生方が必要に応じて介入して下さりありがとうございます。揉め事の内容がまだまだ幼く、今後の子どもの成長を期待しつつ、学校でも引き続き見守っていただけますと幸いです。 ・子供にいつもと違うことがあれば直ぐに連絡をもらえたり、手厚くみてもらっていると感謝しております。 ・個々の状態に合わせて、柔軟に対応していただき、感謝しています。 ・学校に行く機会が多く、その際に生徒と教師の距離が近いのがとても印象的でした。子供からも先生の話の聞いたり、子供も先生と話しやすいと喜んでいたので学校生活も楽しいものになってよかったです。 ・佐織中の保護者となって1年経っていませんが、佐織中の生徒の主体性を信じつつ、いつか自立する時に困らない様にルールに基づいた自主性にも重きをおいている所、そのバランスがとても良いと思います。これらは学校だけの導きだけではうまくいかない事だと思います。生徒たちが自分たちも学校生活を良くしていく一人なのだとどの学年であってもどんな立場の生徒であっても思っていて欲しいと思います。 ・緊急時は電話連絡は必要だと思うが、「様子を見てください」など事後の連絡で急ぎでないものについては、電話連絡ではなくCラーニングで連絡して欲しい。先生方も時間を作って連絡する必要があるため申し訳ないし、こちらもいつも電話に出れるわけでもない。17時以降は折り返しもできないため不便。 ・子供から先生によって言うことが違い、先生の言う通りに行動しても他の先生から怒られることがあると度々ききます。色々な生徒がいるため、先生方もお忙しいとは思いますが子供達が戸惑わないようにしていただければと思います。 ・子どもの感じ方次第ですが、先生の中で、生徒によって指導内容や関わり方に差が出ており、子どもたちに不信感や不満、不安などが出ているようです。また、なぜ注意を受けたのかかわからないまま一方的に他の生徒の前で指導を受け、悲しい思いをしている生徒もいます。一瞬の感情ではなく、指導の意図をきちんと子どもたちに示しながら、適切な指導をお願いしたいです。
-------	---

	・某高校での盗撮事件がありましたが多数の人間が出入り可能な環境は同じ様な事件が簡単に起こり得るのではないかととても心配です。生徒（特に女子生徒）に被害が及ばない事を願います。 ・休み時間に筆記用具などの私物を隠される？持っていかれると長く悩んでいる保護者さんがおられます。主張がすれば信頼出来る先生が対応して頂けるが実際のところ現在まだ続いている。本人が先生に言わないでと言うから保護者さんは学校に伝えてないと。保護者さんの力になって頂きたいです。よろしくお願いします。
生徒から	・交通マナーがすごく悪い。 ・最近みんな掃除ができていないと思います。正直言うと廊下は僕が一年生の頃と比べかなり汚くなりました。昔きれいだったところが汚くなっているところを見るとなんとなく居た堪れない気持ちになります。 ・アンケートの意見を活かしてほしい。アンケートをとって、そのまま掲載するだけでは意味がない。それなら書くだけ無駄。 ・教室でものを投げる人がいて、それでものをなくしている人もいます。
学校から	学校や教職員のさまざまな取組や学校生活に対して、多くの温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。学校は、さまざまな考え方、思い、価値観をもった生徒が集まります。学校では生徒が関わり合うさまざまな場面を設定することで、お互いに認め合い、共鳴し、高め合うことができるように努めています。お子様の成長にとって最良な指導について、全校での共通理解を丁寧かつ速やかに図り、学校生活に関する適切な情報提供を積極的に行っていきたいと思っています。 学校からご家庭への連絡についてですが、お忙しい中にも関わらず連絡させていただくことがあり申し訳なく思っております。お伝えしたい内容や時間帯などを鑑みて、電話とＣＬラーニングの両方を適切に活用するよう努めます。 教員間での指導の不一致についてご意見をいただきました。学校ではさまざまな会議・打ち合わせなど、さらにＩＣＴ機器の活用などで、指導方針や情報を職員同士が伝達・共有しています。今後も、より迅速、正確に情報共有を図るよう努めていきたいと思っています。 学校の危機管理に対するご意見をいただきました。学校としての対策として、来校する方には、保護者、業者など全ての方に必ず職員室へお越しいただき、そこでお渡しした名札をかけたことになっています。名札をかけていない方が学校にいることを確認した時点で、必ず声をかけるように教員同士の共通理解を図っております。また、教職員による不祥事防止に関しまして、本校では学校用携帯電話の整備やＣＬラーニングアプリの導入、Googleシステムの校務活用などの対策を行い、職員の私的な情報端末や連絡先を業務で使用しないよう徹底しております。また、生徒・保護者の皆様で気になること、お気づきのことがありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。 保護者・生徒から、生徒間のトラブルについてご意見をいただきました。学校という場では対人トラブルを完全になくすことは難しい現実がありますが、良好な人間関係の在り方、道具などの適切な使い方といった基本的な指導・啓発を引き続き進めるとともに、トラブルが生じた時には、生徒の思いをしっかりと受け止め、丁寧に指導を進めてまいります。また指導の内容を保護者の皆様と適切に共有し、ご家庭と学校が連携してお子様を見守っていただけるよう努めます。 交通マナーについて、アンケートの質問１１の結果を見ると、９割以上の生徒は「安全に気を付けて登下校できている」と認識していることが分かります。しかし、本年度これまでのところ、登下校中に自動車との接触事故が複数発生しています。学校でも安全な登下校について指導を続けておりますが、ご家庭におかれましても、お子様への交通安全に対するお声かけや日常的な見守りへのご協力をお願いいたします。 掃除について、本校では、現在の２年生から上履きをバレーシューズに変更したことに起因して、廊下に付く黒い筋状の汚れが目立つようになってきましたが、それを清掃の時間に黙々と磨く生徒も多数います。そういった生徒の行動を認め、「学校を自分たちできれいにしよう」という意識を育み、多くの生徒が掃除に前向きに取り組めるよう働きかけを続けたいと思います。 最後に、今回だけでなくこれまでのアンケートで寄せられた多数の気づきやご意見は、学校運営上大変大切なものであり、全て参考にさせていただいております。全ての気づきやご意見に目を通し、必要と感じたものについてはできる限り早く改善してまいりました。佐織中学校をよりよくするために生徒・保護者の声は必要ですので、今後も積極的に協力をしていただきたいと思います。

部活動について

保護者から	・部活動では休日でも練習試合を組んでいただいたり熱心に指導していただいたりして感謝しています。春の陸上大会や部活の大会に校長先生が来てくださっているのを見て驚きました！！いつもありがとうございます。 ・部活動の時間が少ない分、校庭を開放するなどして、生徒が自主練を出来る環境を作ってもらいたいです。 ・部活では担当の先生がいらっしゃるので、とても良く見て頂いています。
生徒から	・部活時間が足りない。 ・とっても楽しかったよ。部活まだやっているよ。朝も夜も自主練してます。

学校から	全国的に部活動の在り方が見直され、これまでの活動の仕方とは変わってきています。本校においても、学校規模と部活動数のアンバランスさや教員の働き方改革の推進も相まって、部活動を支える環境が大きく変化しています。努力を重ね自分の可能性を広げたり、仲間とともに困難に立ち向かう協力の大切さを学んだり、部活動のもつ意義は非常に深いものです。それぞれの活動で、前述したような価値に少しでも触れられるよう、限られた環境の中ではありますが指導に努めたいと思います。 学校では、これからの部活動の在り方について引き続き議論を重ね、新たな方針について模索しています。子供たちの健やかな成長を願いながら、持続可能な最良な活動を検討・推進いたします。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。
------	--

本年度新たな取組について

保護者から	・子どもとも話をしましたが、グループ担任に不安を持っているようです。今年は良いが、3年生になった時にグループ担任だと困るそうです。 ・グループ担任制はいままでのところあまりメリットを感じにくいと思われる。先生達より生徒達のメリットを具体的に教えてほしい。 ・グループ担任制は生徒にとっては良いものとは思えません。 ・グループ担任制になってから、責任の所在があいまいになってなっていると強く感じるがありました。やはり無理があるのではないのでしょうか。 ・グループ担任制で、先生同士の連絡ができてないと思います。 ・今年度始まったグループ担任制について、保護者としては子供が受験生ということで連絡がすぐに伝わらない不安を感じながら過ごしました。担当して頂いた先生には丁寧に対応して頂いてますが、時間がかかることにもどかしさがあります。子供にとってはクラス担任以外に話しやすい先生がいる事は良いことだと思いますが、受験生にはデメリットが多い気がします。その日のクラス担任に質問すると、担当の先生に直接聞きに行くと返されることが度々あり、担当先生を探しきれず会えずに終わってしまう事がありました。業務の多い先生方がそれぞれ引き継ぎや連絡が難しくなっているように感じました。 ・やはり、グループ担任制には疑問が残ります。子どものこと、連絡事項など親から先生にお伝えしたいことなど、だれに連絡してよいかわかりません。子どもの教育相談の担当の先生でよいのでしょうか？ ・グループ担任制ではなく、以前のような1クラス1担任に戻してほしいです。 ・担任制でないことで、1クラスにちゃんと向き合っていないと思うことがありました。欠席したときなど電話があつたりなかったり対応が違ふと他のお母さんから聞きました。 ・グループ担任制の実感できるメリットはどこにあるのか？オアシスルームは、実際の生徒の活用は、どういう実態なのか？子どもに聞いても、居眠りしに行くところ、授業を受けたくない子が、居眠りいく、とか、その程度の事を実感として、話しをする。オアシスルームの実態を知りたい。ダイバーシティ、多様性を教える教師側にも、そういった個性的な授業が展開されているのかと、疑問に思う。 ・グループ担任制の良さが未だによく分かりません。ここまでグループ担任制でよかったと思えた事実が特にありませんでした。保護者としてはなんとなく先生との距離を感じました。こちら側の意見だけではなく先生方はこのグループ担任制を実施してみてどう感じていらっしゃるのか、ぜひ聞かせていただきたいです。
生徒から	・3年生に進級した時、グループ担任制であることが少し不安です。 ・グループ担任制なんか嫌だ ・来年はグループ担任じゃないのがいい。1クラスの絆が、担任一人の方が深まるし、団結力が強くなる。 ・オアシスルームに行ってる人がいたら「あいつサボリ」と言ってる人がいた。グループ担任制は、とてもいいと思う ・オアシスルームの偏見などをしてくる方がいたのでそれはちょっとやめてほしいです。 ・匿名のシーラーニングのお悩みboxを作してほしい。
学校から	「多様な『幸せ』実現」という学校経営目標の下、生徒の多様で主体的な学びや生活の仕方を進めるために、本年度さまざまな取組を実施してまいりました。今回いただいた全てのアンケートに対して、大変貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。今後、皆様の声を生かしたよりよい組織中学校の在り方について、さらに検討を重ねてまいりたいと思います。 なお、来年度実施を計画している取組の一部につきましては、3月に開催する「学年懇談会」の際に校長から説明をさせていただきます。ご承知おきください。